



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月14日

上場会社名 ソースネクスト株式会社
コード番号 4344 URL <http://www.sourcenext.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 COO (氏名) 小嶋 智彰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 CFO (氏名) 青山 文彦

TEL 03-6254-5231

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,226	13.4	1,424		1,320		1,150	
2023年3月期第2四半期	4,608	7.8	1,304		1,120		1,063	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,305百万円 (%) 2023年3月期第2四半期 1,005百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	8.49	
2023年3月期第2四半期	7.85	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	18,344	8,613	44.1	59.64
2023年3月期	19,639	9,903	46.9	67.92

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 8,084百万円 2023年3月期 9,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,846	33.8	21		65		29		0.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	136,358,300 株	2023年3月期	136,349,600 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	800,024 株	2023年3月期	800,024 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	135,549,624 株	2023年3月期2Q	135,497,712 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束へ向けた動きが加速し、個人消費の拡大や海外からの渡航者の増加等、社会・経済活動に持ち直しの傾向が見られました。一方で、ウクライナ情勢の長期化等、地政学的なリスクの高まりによるエネルギー価格や原材料価格の高騰に加え、為替相場の変動等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、2023年4月～2023年9月におけるパソコン出荷台数が前年比92.4%で推移しました(2023年10月、JEITA調べ)。またインバウンド・アウトバウンドの回復が進み、2023年4月～2023年9月の訪日外客数は12,583,747人(2019年比23.1%減、前期比1,255.8%増)となり、出国日本人数は5,036,607人(2019年比50.4%減、前期比255.1%増)となりました(2023年10月、日本政府観光局調べをもとに当社作成)。

このような環境下において、当社は「製品を通じて喜びと感動を世界中の人々に広げる」をミッションに、既存の製品における収益拡大と、お客様のニーズに合った製品の企画・開発による新しいビジネスの創造に取り組んでおります。

製品別の状況につきましては、当社グループのAI通訳機「POCKETALK(ポケトーク)」の国内販売台数は、インバウンド需要の拡大や、今後の更なる回復への期待もあり、オンラインショッピングチャネルを中心に前期比で増加しました。また、海外市場については、特に米国において非ネイティブに向けた多言語対応需要等により、教育機関や医療機関、公共機関、その他企業に導入されており、メディアの露出による認知の拡大も進んでおります。2023年7月には、ソフトバンク株式会社と包括的業務提携契約を締結し、国内市場の法人向け販売や海外市場のさらなる拡大に取り組んでいます。

2023年3月に、「ポケトーク」ブランドの新製品として、ChatGPTの開発元であるOpenAI社の技術を活用した法人向けのビジネスシリーズ「ポケトーク for BUSINESS」の「同時通訳」を発表し、加えて年内に発売予定の製品として「ムービー翻訳」、「カンファレンス」を発表いたしました。「ムービー翻訳」は正式リリース前から導入検討企業が複数出ており、「カンファレンス」に関しても、デモ版が複数のビジネスカンファレンスで実際に活用されています。サブスクリプション型製品である同シリーズに注力することで、安定した収益基盤を形成してまいります。

その他のIoT製品については、文字起こしAIボイスレコーダー「AutoMemo(オートメモ)」で、2020年12月の発売開始以来、アカウント登録数が順調に増加し続け、累計アカウント数(「オートメモ」のサービスを利用する有料・無料会員の合計)は2023年9月末時点で100,000アカウントを突破いたしました。2023年8月にはwebアプリ版「AutoMemo Home(オートメモ ホーム)」の提供開始や専用端末の新製品「AutoMemo(オートメモ) R」の発売により、サブスクリプション型テキスト化サービスの会員数も増加しております。

360度webカメラシリーズ(「Meeting OWL Pro(ミーティングオウル プロ)」、「KAIGIO CAM360(カイギオカム360)」)の販売は法人のお客様からの需要を獲得し、堅調に推移しております。2023年5月に「ミーティングオウル プロ」の累計出荷台数が30,000台を突破しました。

ソフトウェアでは、パソコン出荷台数の減少等、依然として厳しい市場環境に置かれているものの、携帯キャリアが提供するアプリ使い放題サービスへのコンテンツ提供や、読める留守番電話「スマート留守電」のサブスクリプション型サービスの新規ユーザー獲得が好調に推移し、ソフトウェア全体の売上高は前期と同水準で推移いたしました。セキュリティ製品では、法人向けエンドポイントセキュリティ製品「スーパーセキュリティ for Business」を発売し、法人のお客様からの需要を獲得しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は52億26百万円(前期比13.4%増)、売上総利益27億27百万円(前期比28.3%増)となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、今後の「ポケトーク」事業拡大のための人件費や広告宣伝費の増加、当社直販サイトを新システムへ移行することに伴う業務委託費の一時的な増加等がありました。結果、販売費及び一般管理費は41億52百万円(前期比21.0%増)となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業損失は14億24百万円(前期営業損失13億4百万円)となりました。

円安の進行に伴う為替差益1億87百万円の影響により、営業外収益は1億95百万円(前期比36.1%減)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経常損失は13億20百万円(前期経常損失11億20百万円)となりました。非支配株主に帰属する四半期純損失が1億79百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は11億50百万円(前期親会社株主に帰属する四半期純損失10億63百万円)となりました。

当社グループはIoT製品、ソフトウェアの企画・開発・販売及びその他のサービス事業の単一セグメントです。各販売チャネルの営業概況は以下の通りです。

ア) オンラインショップ

当チャネルでは、当社直販サイト及びAmazon等の国内ウェブサイトにおけるオンラインショップにおいて、「ポケットーク」や「オートメモ」をはじめとするIoT製品、年賀状ソフトやセキュリティソフト等のソフトウェア製品等を販売しております。

当第2四半期連結累計期間はAmazon等の国内ウェブサイトでの販売が好調に推移し、インバウンドの復活による「ポケットーク」の需要回復や、販売製品数の拡充等により、売上高が前期よりも増加しました。一方で、当社直販サイトではパソコン出荷台数の減少やサイトアクセス数減少の影響があり、売上高が前期比で減少しました。

この結果、当チャネルの売上高は24億8百万円(前期比3.4%減)となりました。

イ) 家電量販店

当チャネルでは、主に全国の家電量販店において、個人ユーザー向けのIoT製品及びパソコンソフト等を販売しております。

当第2四半期連結累計期間はハードウェア製品を中心に販売が好調に推移しました。インバウンド・アウトバウンドの復活により「ポケットーク」の需要が回復したことや360度webカメラシリーズの販売が好調に推移したことにより、売上高は前期比で増加しました。

この結果、当チャネルの売上高は8億18百万円(前期比38.4%増)となりました。

ウ) 法人営業

当チャネルでは、「ポケットーク」を始めとするIoT製品並びにweb会議関連のハードウェアの法人向け販売・レンタル提供や、セキュリティ製品やPDF編集ソフト等のパソコンソフトの販売をしております。「スマート留守電」を中心とするスマートフォンアプリケーションのサブスクリプション型サービス提供にも注力しております。

当第2四半期連結累計期間は、ハードウェア製品、ソフトウェア製品ともに販売が好調に推移しました。法人向け大型案件の受注や携帯キャリアによるアプリ使い放題サービス好調の影響で売上高は前期比で増加しました。

この結果、当チャネルの売上高は14億81百万円(前期比36.7%増)となりました。

エ) その他

海外では米国や欧州のAmazonにおける販売及び法人への直接販売を中心に「ポケットーク」を販売しております。

当第2四半期連結累計期間において、海外での「ポケットーク」販売は法人向け販売を中心に、好調に推移いたしました。米国にて法人による大型のリピート購入が進んでおり、売上高は前期比で増加しました。

この結果、「その他」の売上高は5億18百万円(前期比17.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比較し12億95百万円減少し、183億44百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少17億82百万円、無形固定資産の増加5億34百万円によるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較し5百万円減少し、97億30百万円となりました。主な要因は、返済に伴う長期借入金の減少2億60百万円、その他流動負債の減少3億83百万円、未払金の増加4億29百万円によるものです。

経営の安定性を示す自己資本比率は、当第2四半期連結会計期間末において44.1%(前連結会計年度末46.9%)と、財務の安全性が保持されております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました通期の連結業績見込予想を修正しております。詳細につきましては本日公表の「2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と決算値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,484,572	4,702,529
売掛金	1,264,988	1,785,744
商品及び製品	3,345,704	2,867,134
原材料及び貯蔵品	65,426	102,896
前渡金	860,637	786,807
その他	485,574	520,840
流動資産合計	12,506,905	10,765,951
固定資産		
有形固定資産		
有形固定資産	394,441	399,372
減価償却累計額	△316,987	△329,910
有形固定資産合計	77,453	69,462
無形固定資産		
ソフトウェア	1,183,049	2,297,438
契約関連無形資産	1,078,590	1,039,838
その他	813,793	272,380
無形固定資産合計	3,075,433	3,609,657
投資その他の資産		
投資有価証券	3,372,612	3,367,839
繰延税金資産	506,055	437,271
その他	100,878	93,906
投資その他の資産合計	3,979,545	3,899,017
固定資産合計	7,132,432	7,578,138
資産合計	19,639,337	18,344,090
負債の部		
流動負債		
買掛金	259,289	428,960
短期借入金	4,600,000	4,600,000
1年内返済予定の長期借入金	520,080	520,080
未払金	913,133	1,342,683
未払法人税等	36,712	30,450
前受収益	439,529	454,227
賞与引当金	26,115	96,128
その他	609,696	226,544
流動負債合計	7,404,557	7,699,075
固定負債		
長期借入金	2,129,820	1,869,780
長期前受収益	201,928	161,516
固定負債合計	2,331,748	2,031,296
負債合計	9,736,305	9,730,371

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,701,935	3,703,401
資本剰余金	7,332,327	7,333,794
利益剰余金	△1,889,953	△3,040,142
自己株式	△163,122	△163,122
株主資本合計	8,981,187	7,833,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	125,156	165,774
為替換算調整勘定	99,631	84,937
その他の包括利益累計額合計	224,788	250,711
新株予約権	258,724	272,299
非支配株主持分	438,332	256,776
純資産合計	9,903,032	8,613,719
負債純資産合計	19,639,337	18,344,090

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	4,608,697	5,226,709
売上原価	2,482,212	2,498,846
売上総利益	2,126,485	2,727,863
販売費及び一般管理費	3,431,091	4,152,843
営業損失(△)	△1,304,606	△1,424,979
営業外収益		
受取利息	4,877	117
受取配当金	2,088	2,271
為替差益	298,152	187,765
その他	1,270	5,762
営業外収益合計	306,389	195,917
営業外費用		
支払利息	22,870	34,578
持分法による投資損失	99,430	42,293
その他	399	15,000
営業外費用合計	122,699	91,872
経常損失(△)	△1,120,916	△1,320,934
特別利益		
投資有価証券売却益	—	21,384
新株予約権戻入益	3,773	24,550
特別利益合計	3,773	45,934
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,117,143	△1,275,000
法人税、住民税及び事業税	3,417	3,399
法人税等調整額	1,488	50,857
法人税等合計	4,905	54,257
四半期純損失(△)	△1,122,049	△1,329,257
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△58,941	△179,069
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,063,107	△1,150,188

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,122,049	△1,329,257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79,080	40,617
為替換算調整勘定	37,657	△17,180
その他の包括利益合計	116,737	23,437
四半期包括利益	△1,005,311	△1,305,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△947,730	△1,121,075
非支配株主に係る四半期包括利益	△57,580	△184,745

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,117,143	△1,275,000
減価償却費	194,756	201,535
ソフトウェア償却費	329,576	317,772
のれん償却額	14,425	—
株式報酬費用	32,443	38,986
商標権償却費	1,642	1,716
賞与引当金の増減額(△は減少)	△45,744	64,319
受取利息及び受取配当金	△6,965	△2,388
支払利息	22,870	34,578
持分法による投資損益(△は益)	99,430	42,293
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△21,384
新株予約権戻入益	△3,773	△24,550
売上債権の増減額(△は増加)	△202,427	△507,038
棚卸資産の増減額(△は増加)	492,127	489,913
前渡金の増減額(△は増加)	214,677	73,830
仕入債務の増減額(△は減少)	△118,624	152,346
未払金の増減額(△は減少)	△172,286	△39,509
前受収益の増減額(△は減少)	3,089	14,697
長期前受収益の増減額(△は減少)	41,226	△40,411
未払又は未収消費税等の増減額	130,134	△347,759
その他	△192,845	△256,041
小計	△283,411	△1,082,093
利息及び配当金の受取額	7,039	2,463
利息の支払額	△22,886	△34,029
法人税等の支払額	△4,820	△4,568
法人税等の還付額	28,155	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△275,924	△1,118,227
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△70,485
有形固定資産の取得による支出	△1,853	△2,802
ソフトウェアの取得による支出	△481,572	△576,425
投資有価証券の売却による収入	—	98,815
差入敷金保証金の返還による収入	75,522	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△407,903	△550,897
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△431,040	△260,040
新株予約権の行使による株式の発行による収入	4,334	2,071
配当金の支払額	△67	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,426,773	△257,974
現金及び現金同等物に係る換算差額	223,623	70,265
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,886,978	△1,856,833
現金及び現金同等物の期首残高	5,451,092	6,484,572
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,564,113	4,627,739

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。